

# 岡田県営住宅地域における生活支援サービスを考えるための調査について

## ～ 調査報告と今後の取り組み予定～

### 調査結果報告

- 【目的】 岡田県営住宅地域における生活支援サービスを考えるための現状把握
- 【手法】 住民懇談会（ブレインストーミング） （※住民の声を聞かせていただくことを重視。）
- 【対象】 ・ 岡田もくせいハイツ自治会（12/4 実施）  
・ 県営寒川もくせいハイツ第二自治会（12/12 実施）  
→それぞれの自治会長より住民数名（主に自治会役員等）を集めていただいて実施。
- 【結果】 参考資料1「岡田県営住宅地域におけるブレインストーミング実施概要」より

### 今後の取り組みと予定

今後の取り組みとしては、住民の方との懇談を継続し、課題整理をしたい。そこから、何をどう取り組めるのか、取り組まないのか、住民の方と一緒に判断していくようにしたい。支え合いの仕組みづくりは、時間がかかるので、S Cが地域の皆さんの中に溶け込んでいけるように、懇談を通じた信頼関係づくりから行っていきたい。

#### 【今後の取り組み1】

今回の懇談会の結果を住民の方と共有する。

#### 【今後の取り組み2】

今回分類した「強み」「弱み」「希望等」を基に、さらに住民の方との共有しながらの検討を行う。

- (1) 「強み」 … 良い部分を維持、拡大、継続するための方法を考える。
- (2) 「弱み」 … 弱みとして見えてきた事項を、担い手ごとに考えてみる（住民、公的サービスなど）
- (3) 「希望等」 … 希望等についても、担い手ごとに考えてみる（住民、公的サービスなど）

→今回実施したブレインストーミングのような形式の他、担い手養成のカードゲーム等、ワークショップ的なことも実施したい。

また、今回の懇談会においては、いくつかのキーワードが浮かび上がってきたように思われる。（※「情報」、「コミュニケーション」、「通いの場」、「役割・生きがい」、「介護予防（健康寿命の延伸）」など）それについて、さらに掘り下げ、生活支援サービスの開発につなげたい。

県社協主催「神奈川社協ワーカーズフォーラム」

基調講演 講師：澁谷 篤男 氏（(福) 中央共同募金会 常務理事）

「社会福祉協議会が取り組んできた集い・交流の場づくり等の取り組みは、個人に対して良い効果＝健康寿命の延伸につながる」